

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2010年11月号 通巻23号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2010

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

ついに撮った！ハクビシン

センサーカメラが夜の散歩者を激写!!



(左)2階ベランダの手すりに残された謎の足跡。細長い形はハクビシンとアライグマの後足の特徴。

(右)センサーカメラが撮ったハクビシン。フラッシュ光を反射して眼が光っている。右方向から電線の引き込み線を降りてくるところだったようだ。

センサーカメラの話は2010年6月号で紹介しました。センサーカメラは設置するだけで後は自動で撮影してくれる便利な装置ですが、なかなか撮影できる機会がありません。しかし2010年8月、久しぶりにそのチャンスが巡ってきました。しかも今度の被写体はハクビシンらしいのです。

豊島区のT様からメールで送られてきたのは動物の足跡の写真でした。その足跡は塀の上や2階ベランダの手すり、電線の引き込み線などに点々と残っていました。こんなところを歩ける哺乳類というとハクビシンが最有力候補です。細長い足跡もハクビシンであることを示しています(低確率でアライグマの可能性もあります)。

シャッターチャンスは1度だけ

T様からはセンサーカメラの設置も協力いただけるとのことでしたので、さっそく設置に行くことになりました。T様宅でのハクビシンの移

動経路はいつも同じと推測されました。そこで、1台は2階のベランダに、もう1台は1階の塀を見上げる位置に設置しました。そして2週間後、センサーカメラを回収するために再びT様宅を訪問しました。1階の方は、約400枚も撮影していたものの、それらしい動物はまったく写っていませんでした。センサーは木の葉が揺れるのに反応したようです。2階の方はたった10数枚しか撮影していませんでした。こちらも空振りか…と思いつつも写真を確認していくと、1枚だけハクビシンが写っていたのです！撮影日時はセンサーカメラを設置した日の深夜でした。引き込み線からベランダに降りようとしたところを撮影したようです。どうやらこの時のフラッシュ光を警戒し、その後はここを利用しなくなったと思われます。以前タヌキを撮った時もセンサーカメラを警戒されてしまったことがありました。彼らはセンサーカメラをあやしいものだとして認識しているのでは

う。本当にワンチャンスの撮影だったわけです。

あなたの家にも…？

今回の成功の理由は、ハクビシンの通り道が正確に特定できていたからです。ハクビシンが泥の上をたまたま歩いたおかげではっきりと足跡が残ったのです。足跡がなければ、おそらく誰も気付かなかったでしょう。ハクビシンは電線を歩く姿がよく目撃されますが、どうやら引き込み線や屋根や樹木を伝って電線に移動することも多いようです。もしかしたらあなたの家のベランダにも毎晩来ているかもしれません。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>